



佐賀の素晴らしさを伝えたい
高校生の企画を募集します！
二次予選通過チームには、
企画を磨き上げるための
ワークショップ合宿を開催。
磨き上げた企画をコンテストで、
プレゼンテーションしましょう！

最優秀チーム 仲間と経験を得よう！
副賞 特別修学旅行！

第8回は世界自然遺産の屋久島(鹿児島県)に行きました！

日程

1 応募しよう

応募期間 **6.2-9.7**
(月) (日) ホームページのエントリーシートに自分たちのアイデアを入力し提出

2 一次予選

9月中旬 熱い思いがこもった応募書類をもとに書類審査

3 二次予選

10.25 (土) オプティム・ヘッドクォータービル(佐賀大学内)
一次予選で選抜された20チームが、審査員を前に企画への熱い思いをプレゼン

4 ワorkshop合宿

11.15-16 (土)(日) 中面をチェック！
場所 波戸岬少年自然の家(唐津市)
アドバイザーのもと、企画の構成・プレゼン等に関する基礎学習やグループワーク実施

5 企画コンテスト・交流会

12.14 (日) 中面をチェック！
知事・クリエイターにプレゼンと交流
場所 佐賀城本丸歴史館(佐賀市)
審査員 佐賀県知事 山口 祥義 (株)Creative Project Base 倉成 英俊氏
アールテクニカ(株) 古瀬 学氏 (株)ほぼ日 下尾 苑佳氏

6 最優秀チームは特別修学旅行！

日程：2026年2～3月頃

応募テーマ

もし、あなたが知事だったら、
佐賀県の素晴らしさを活かし
「最高！」な未来の
佐賀県のために
何をしますか？

企画のテーマ設定に迷ったら、公式HPの「テーマのヒント」をチェック！

企画甲子園2025

応募資格

①高校生等で結成する2～5名のチームで応募すること。
※佐賀県外の高校生も応募可。高校生等とは、県内又は県外の高等学校、中等教育学校(後期課程)、特別支援学校(高等部)、高等専門学校(3年生以下の学生)若しくは専修学校(高等課程であって3年生以下の学年)に在籍している生徒

②「二次予選」「ワークショップ合宿」「企画コンテスト」に参加できること。
※都合が悪い場合は、相談可

③保護者の同意を得ていること。

④その他HPに記載している募集要領の内容に同意していること。

応募方法

HPIに記載している募集要領を確認し、応募フォームに必要事項を入力して申し込んでください。

申し込み・問い合わせ

佐賀県 さが創生推進課
(受託事業者：NPO法人鳳雛塾)
〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号
TEL, 0952-25-7505
MAIL, kikakukoshien@pref.saga.lg.jp

応募締切 **2025 9.7** (日)

こちらにも募集中！

特別開催 体験イベント
企画体験会

企画ってどんな考え、工程でつくられていくのか、プロが教えてくれる貴重な体験会です。
直接参加が難しい場合も申し込んでいただければ、配信動画を見ることができます。
見て、聞いて、やってみないと、わからないことって多いよね！？ ぜひ、お申し込みください！

日時 **7.26** (土) 13:30-16:00
場所 **iスクエアビル 5階セミナールーム** (佐賀市駅前中央1-8-32) 企画体験会へのみの参加も可能です。

申込期限 **7.23** まで (水)
申込 企画甲子園ホームページのWEBフォームよりお申し込みください。
定員 **30** 名 先着順

企画体験会 申込フォーム

※体験会の参加と企画甲子園の審査は関係ありません。応募の有無に関わらず誰でも参加可能です。※当日の会場参加が難しい方向けに録画配信を行います(要事前申し込み)

第9回
企画甲子園
KIKAKU-KOSHIEEN 2025 SAGA-SAIKOU!

応募締切 **2025 9.7** (日)

みんながもっと佐賀を好きになる！
高校生のアイデアを募集！

こちらにも募集中！

特別開催 体験イベント
企画体験会

プロに学ぶ、企画の立て方！
クリエイティブな
プランニング体験してみよう！

日時 **7.26** (土) 13:30-16:00
場所 **iスクエアビル 5階セミナールーム** (佐賀市駅前中央1-8-32) 企画体験会へのみの参加も可能です。

詳細はホームページをご覧ください。
企画甲子園2025

佐賀県 さが創生推進課
TEL.0952-25-7505
(受託事業者：NPO法人鳳雛塾)

© 2025 Saga Prefecture.

企画コンテストレポート!

自分たちのアイデアを
自信を持って発表しよう

身振り手振りをつけて
気持ちを込めたプレゼン

会場は佐賀城本丸歴史館
発表前は緊張したり
他のチームの発表を応援



一次予選、二次予選、ワーク
ショップ合宿を経て磨き
あげられた企画をプレ
ゼンテーションします。

知事や
クリエイターから
感想やエールが
もらえる

審査員の皆さんも企画
に興味津々。和やかな雰
囲気の中で質問やコメ
ントをやり取りします。

交流会

コンテスト終了後、
審査員のみなさんや、
他のチームとの交流会

コンテストの時間内では
収まらなかったアドバイス
やエールをいただきます。



特別
レポート!

ワークショップ合宿ってなにをするの?

良きライバル同士、刺激し合います!

チーム間 交流

チームごちゃ混ぜにな
り楽しみながら企画に
ついてアイデアを出
し合います。

講義

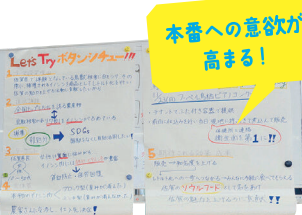
アドバイザーから企
画の組み立て方や、
プレゼン手法など
について学びます。

業界の第一線で活躍する
アドバイザーからの貴重な
講義やアドバイス!

グルー プ ワーク

チームごとにグループワーク。講義や
アドバイスを踏まえた上で、企画を練り上げます。

中間発表



本番への意欲が
高まる!

合宿最後は中間発表。本番さなが
らに発表を行いアドバイザーから
フィードバックを受けます。

合宿終了後もコミュニケーションツールを使い、作業状況の確認やアドバイスなどのフォローをします

OB・OGインタビュー

インタビュー全編を
HPに掲載中!
インタビューは
公式HPをチェック→



「やってみよう!」が未来を変えた

原口 夏葵さん

現職: 佐賀県庁職員

参加時期: 第1回(2017年度)

チーム名: びよっこ(出身高校:佐賀西高校)

テーマ: #SAGAカワイイプロジェクト

高校3年のとき、ポスターを見て「面白そう!」と友達と応募。テーマ決めから企画書づくり、プレゼンまで初めてでしたが、合宿でのプロのアドバイスで視野が広がり、本番も楽しく発表できました。迷っていた進路選択も企画甲子園に参加することで明確になりました。何より、企画甲子園での経験が、自信につながりました。

高校時代の挑戦が、今の私の原点になった

富山 紗代さん

佐賀大学農学部 4年/学生広報スタッフ

参加時期: 第4回(2020年度)

チーム名: オニオンズ(出身高校:佐賀農業高校)

テーマ:「冷凍 白石たまねぎ」で農家と家庭に「希楽」を

企画を通して白石町のたまねぎ農家さんの力になりたいと思ったのが参加のきっかけです。練習を重ねて挑んだプレゼンで度胸がつきました。合宿で他チームとの交流も刺激になりました。コンテスト終了後は企画実現へ向けて試作品開発や企業との調整にも挑戦しました。企画を形にする楽しさを知ったことで大学では色々なことに挑戦しています。

悔しさも達成感も、全部が今につながっている

古川 陽渡さん

佐賀大学農学部 3年

参加時期: 第5回(2021年度)

チーム名: king of the road(出身高校:唐津東高校)

テーマ: 公営競技で佐賀を面白く!

初めての企画書づくりに苦労しながらも、本を参考に工夫を重ねて挑戦。合宿ではチューターの助言や講義を通して視野が広がりました。本番は悔しさもありましたが、自分で考えて形にする楽しさと達成感は今も活きています。企画甲子園は、社会に出た時の視点を学べる貴重な体験でした。

コンテスト後に実現した企画も...!

「冷凍しろたま」

出場回: 第4回(2020年度)
チーム名: オニオンズ(佐賀農業高校)

「冷凍白石たまねぎ」で農家と家庭に「希楽」を
規格外の玉ねぎの消費と調理時間の短縮をコンセプトに生まれた冷凍みじん切り玉ねぎ。クラウドファンディングを成功させ商品化。現在も県内外のスーパー等で販売をされています。



他にも実現した企画がたくさん!



「佐賀牛肉まん」

出場回: 第5回(2021年度)
チーム名: グレー(おおぞら高校(佐賀キャンパス))

佐賀牛でまちを変えよう

佐賀牛をもっと身近に感じてもらうために、佐賀牛肉まんを開発。佐賀牛を使ったメニューを扱うキッチンカーを一堂に集めた「佐賀がばい肉フェス」を開催しました。肉まんは現在も県内スーパーで販売中。

